
ごみ問題

宮本司

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

「じみ問題

【著者名】

富本司

N4220D

【あらすじ】

隣室に引っ越ししてきたばかりの渡辺親子の「じみの捨て方に不満が募る山田（主婦・45歳）。今日も小言を言おうと渡辺家を訪れると……。笑ってはいけない笑劇の結末が。

「もー。また、渡辺さんね。『燃えないゴミの日は木曜日だ』ってこの前教えたばかりなのに」

山田（主婦、45歳）はマンションのゴミ置き場に自分のゴミ袋を置くと、代わりに空き缶がいっぱいに入った不燃ごみの袋を手に取り、隣の部屋の渡辺家へと向かつた。渡辺家は2週間前のマンションへ越してきた、父親と高校生の娘の2人家族だ。

ピンポーン。

「はい」

娘の声がインターフォンに応答した。

「渡辺さん。隣の山田ですけど、今日燃えないゴミ出したでしょ？ 今日は燃えるゴミの日ですよ。『燃えなごミは燃えないゴミの日』に出してください」

山田がインターフォンに向かつてまくしたてていると、高校生の娘が申し訳なさそうな顔をしてドアを開けた。

「すみません。引っ越ししたばかりでよくわからなくて」

山田はぶつきらぼうに不燃ごみの袋を娘につき返すと「今度から気をつけてくださいね」と言い残し、自分の部屋へと帰りつとした。しかし、予想外にも娘に引き止められた。

「山田さん。すみません。ゴミの出し方のことでひとつ教えてほしいんですけど」

そういうと、娘は部屋の中に山田を招き入れた。

「これなんですか、何の『みの日』に 出せばいいですか？『生ゴミの日』ですかそれとも『粗大ゴミの日』ですか？」

娘が指さした先には、全身メッシュ刺しにされた父親の死体があつた。

「昨日成績のことでも怒られて包丁で刺しちゃったんですけど、死体の処理のことまで考えてなくて……」

ふうー。

山田は大きくため息をついた。最近の子は何にもわかつていないのだから。

そして山田は答えた。

「父は『父の日』に出すに決まっているでしょう」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4220d/>

ごみ問題

2010年11月14日15時09分発行